

平成30年度ツキノワグマのエサ資源の豊凶事前予測について

例年、ツキノワグマの秋の主要なエサ資源であるブナ科植物（ブナ・ミズナラ・コナラ）の果実の豊作、凶作を予測することにより、ツキノワグマの出没傾向を予想している。エサ資源の事前予測については、ブナ科植物の雄花の落下数から推定している。

1 調査内容

・調査地点

ツキノワグマの生息がこれまでに確認された8市町内の地点

〔 加賀市・小松市・能美市・白山市・金沢市・津幡町・中能登町・宝達志水町 〕

・調査期間

5月～6月

・調査方法

1 調査地点につき5箇所、1㎡あたりのブナ、ミズナラ、コナラの雄花の落下数を調査し、調査地点全体の平均値によりエサ資源を事前予測。

(単位:個/㎡)

樹種	大凶作	凶作	並作	豊作	大豊作
ブナ	<30	30 ≤ <200	200 ≤ < 900	900 ≤ <1,700	1,700 ≤
ミズナラ	<50	50 ≤ <200	200 ≤ < 300	300 ≤ < 500	500 ≤
コナラ	<50	50 ≤ <200	200 ≤ <1,000	1,000 ≤ <1,900	1,900 ≤

※石川県林業試験場の研究結果による判定基準

2 調査結果

樹種	調査地点	事前予測	雄花落下数平均値 (個/㎡)
ブナ	24地点	並作	415
ミズナラ	23地点	大豊作	601
コナラ	28地点	並作	922

(参考)

H29		H28	
凶作	124	大凶作	13
豊作	454	豊作	439
並作	806	並作	676

3 着果状況における豊凶結果と平成30年の雄花調査によるエサ資源の事前予測

区分	各年度の着果状況における豊凶結果										H30 雄花調査 による 豊凶予測	凡例	
	H16※	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29			
ブナ	×	◎	×	◎◎	▲	▲	▲	◎	▲	○	○	◎◎	大豊作 ◎◎ 豊作 ◎ 並作 ○ 凶作 ▲ 大凶作 ×
ミズナラ	×	◎	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎◎	◎◎	
コナラ	×	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	
目撃件数	1006 (51)	58 (23)	353 (35)	60 (25)	126 (37)	147 (94)	256 (65)	195 (64)	246 (135)	200 (99)	— (102)		

※H16は大量出没があったことから事後に緊急調査を実施

※ () 内は6月30日時点の目撃件数

4 今後のツキノワグマの出没予測について

8月に「着果状況調査」を実施し、より精度の高い豊凶予測を9月上旬に公表予定としております。

5 クマと出会わない、引き寄せないための安全対策

- ・ 山に入る場合には、2人以上で行動し、人の存在に気付かせるため、鈴やラジオを携帯するほか、林道等では、自動車から降りる際にクラクションを数回鳴らしてから降りる等、十分な安全対策を行ってください。
- ・ 不要な果樹、ハチの巣や生ごみ等のエサを求め集落に接近するので、果実は早めに摘み取る、ハチの巣を除去する、生ゴミを放置しない等、誘因物の除去を徹底してください。
- ・ 藪や草の茂みに隠れて移動するため、集落に隣接する草むらの刈り払いを行うようにしてください。
- ・ 早朝、夕方及び夜間に活動が活発になります。山林近くでの早朝、夕方及び夜間の散歩やジョギングには十分注意してください。
- ・ もし出会ったら、大声を出さず動きに注意しながら、ゆっくりと後退してください。
- ・ 市町や県のホームページで公開されている出没情報等を活用し、自宅周辺の出没状況を確認してください。

ツキノワグマによる人身被害防止のために（県ホームページ）
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/kuma/navi01.html>